

東急グループ代表 野本 弘文(東京急行電鉄株式会社取締役社長)
2016年度 東急グループ合同入社式メッセージ【要旨】

東急グループ

1. 日 時 2016年4月1日(金)11:00～
2. 場 所 Bunkamura オーチャードホール(東京都渋谷区)
3. 内 容 2016年度東急グループ合同入社式における東急グループ代表・野本 弘文(東京急行電鉄株式会社取締役社長)によるメッセージ(要旨)
※東急グループでは毎年、首都圏の会社を中心に合同で入社式を開催しています。
○参加会社:東京急行電鉄、東急不動産、東急コミュニティー、東急リハブル、東急百貨店、東急ストア、東急建設、東急ファシリティサービス、東急ホテルズなど51社
○参加人数:1,375人

【東急グループの一員として認識すべき「安心」と「信頼」】

東急グループは、交通事業をはじめ不動産事業、生活サービス事業、ホテル・リゾート事業など、お客様の生活に密着した幅広い分野で事業を展開しています。

東急グループは様々な事業を行っており、皆さんのビジネスパーソンとしての夢をかなえる土壌は十分にあります。しかし、「夢」や「願望」は誰でも持つことは出来ませんが、強い「志」を持って、自ら考え行動していかなければ決して「夢の実現」はありません。皆さんのチャレンジを大いに歓迎すると同時に、皆さんの「夢の実現」が、東急グループそして世の中の発展に貢献することを強く望みます。

昨日オープンした東急プラザ銀座は、用地取得から足掛け9年の歳月をかけ、その間リーマンショックや東日本大震災など数々の困難を克服し、銀座に東急グループの旗艦店をという夢を実現させました。ここに至るまでには、担当者は大変な苦労があったと思いますが、夢の実現のため情熱と忍耐、そして何よりもやり遂げようとする強い志を持って、事に当たった結果であると思います。

また、昨年7月にグランドオープンした二子玉川ライズの開発においては、実に33年もの長きに亘って、多くのグループ社員が係わって夢を実現させてきました。今では20社を超えるグループ会社の社員が、二子玉川ライズで働き、新たな目標に向かって頑張っています

渋谷でも、長年に亘ってグループを挙げて再開発事業に取り組んでいますが、現計画の全体的な完成は、まだ10年も先のこととなります。

街づくりをはじめ、事業は継続することが何よりも大事です。継続させるためには、しっかりと利益を上げ、必要な投資を続けていかねばなりません。

皆さんは、それぞれの会社でいろいろな仕事に就くと思いますが、言われたままやるのではなく、「何のためにその仕事をやるのか」、「何故そうしなければならないのか」、仕事の目的を是非考えてください。すべて自分を試し、鍛えてくれる機会になると思います。

仕事の目的が分かれば、それを達成する手段は幾通りも考えられます。どうすれば効率が上がるか、どうすればより面白くなるか、考えながら仕事を進めてください。

10年後、グループの拠点である渋谷の再開発が完成します。その頃、皆さんが、会社にそして世の中に役立つ仕事をしている事を期待しています。

以 上